

団体名：株式会社 布野特産センター

代表者：小林 正一

所在地：広島県三次市布野町

〔ポイント〕

株式会社布野特産センターは、平成8年に「道の駅ゆめランド布野」を運営する第三セクター組織として発足し、これまで地域農業の振興・都市と農山村の交流拡大などを積極的に取り組んできた。

「道の駅ゆめランド布野」内の直売所（名称：布野ふれあい市場）に併設するレストランで地元農産物を利用した「ふるさとバイキング」の提供、布野作木特産等生産流通協議会との連携のもと、安心・安全な農産物の生産拡大に向けた研修会や特別栽培農産物「安心！広島ブランド」認証取得への取組をすすめている。

現在、農産物直売所への出荷者数は130名で、「安心！広島ブランド」認証取得した農産物は8品目ではあるが、認証取得に向けて研究を始めた会員も増えて特徴ある店舗展開が可能になってきている。

入込客数も年々増加しており、販売額は平成18年度に1億円に達し、今後増加傾向にある。

【活動内容】

- (1) ふれあい市場での地元産農産物の直売による販路拡大
- (2) 「道の駅」ゆめランド布野での地元産農産物によるバイキング料理の提供
- (3) 「まるごと布野のアイス屋さん」で旬の農産物を使ったアイスクリームの販売
- (4) 学校給食の食材供給による地元産農産物の消費拡大と「食育」の推進
- (5) 地元の小学生の農業体験と収穫した農産物を使用した加工品づくりによる一貫した食農体験
- (6) 都市住民を対象とした体験農業や郷土・伝統料理講座などの体験交流事業
- (7) 原種野菜「おおみな（漬物用葉菜類）」の栽培振興と特産品化の推進

【活動の成果】

「地産地消」に焦点を当てた様々な取り組みにより、施設だけでなく地域への集客力が拡大した。また、生産者と消費者との交流が深まり、地元産農産物や「食と農」についての地域の伝統や文化への理解が一層深まった。地元産農産物の販売量の拡大による所得向上、研修会等の開催による布野・作木地区の生産者間の連携も深まり、生産意欲が向上している。